

北陸圏広域地方計画イメージ (概要)

平成 20 年 5 月

国土交通省北陸地方整備局
北陸圏広域地方計画推進室

目 次

第1章	北陸圏の現状と課題	
1	北陸圏の現状	1
2	北陸圏の課題	2
第2章	北陸圏の将来像	
1	人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一	8
2	世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点	8
第3章	新しい将来像実現に向けた戦略目標	
1	安全・安心でゆとりといやしにあふれる 人をひきつける暮らしの充実	10
2	ものづくり文化と進取の気性で培われる 国際競争力のある産業の育成	15
3	三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる 日本海側の中核拠点の形成に向けた基盤の強化	18
4	地域文化力で育まれる国内外との交流の創出	20
第4章	広域連携プロジェクト	
1	日本海沿岸震災対策プロジェクト（仮称）	23
2	立山・黒部、白山など山岳地域の 多面的機能保全・活用プロジェクト（仮称）	23
3	日本海沿岸接続型都市圏形成プロジェクト（仮称）	23
4	北陸型農山漁村活性化プロジェクト（仮称）	23
5	北陸型子育て支援プロジェクト（仮称）	24
6	環日本海諸国と三大都市圏との近接性を活かした 産業エリア形成プロジェクト（仮称）	24
7	食の北陸ブランド展開プロジェクト（仮称）	24
8	日本海沿岸物流基盤信頼性向上プロジェクト（仮称）	24
9	北陸観光・交流推進プロジェクト（仮称）	25
10	日本海海洋環境保全プロジェクト（仮称）	25
第5章	隣接圏域との交流・連携	
1	中部圏との交流・連携	26
2	その他隣接圏との交流・連携	26

第6章 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の主体的な参加と協働 27
- 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成 27
- 3 広域的な発想の下での地域連携の促進 27
- 4 投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理 27
- 5 他の計画・施策との連携 27
- 6 計画のモニタリング 27

第1章 北陸圏の現状と課題

第1章 北陸圏の現状と課題

1 北陸圏の現状

- 富山県、石川県及び福井県の3県から成る北陸圏には、日本海に面し、山々から海に至る豊かな自然と雪国という共通の気候風土
- 共通の気候風土を背景に、等質性、類縁性のある伝統や精神文化を守り育て、古来より「越（こし）の国」として、また、明治以降「北陸」として一体的に呼称される圏域を形成
- 人口が約310万人、域内総生産が約12兆円、面積が約12,600平方キロメートルであり、そのいずれもが、8つの広域地方計画区域の中で最小の圏域
- 豊かで多様な自然環境と共生する優れた生活環境と、日本海側有数の産業集積を有するとともに、歴史・文化面や産業面、学術面などでそれぞれの特徴を持つ富山市、金沢市及び福井市とそれらに連なる都市とが接続
- 多様な個性を合わせ持つ確固たるまとまりのある圏域を形成

(良質な生活環境)

暮らしやすさで常に上位にランキング／質の高い人的資源の宝庫

(豊かな自然環境)

豊かで多様な自然環境の中で維持される多様な生態系や健全な水循環系／多様な食材の宝庫／豊富な水資源

(独自性のある文化)

豊かな歴史・文化を育む独特な歴史／世界遺産及び世界遺産登録を目指す個性ある地域／多数の歴史・文化資源／特徴ある食文化／多くの伝統工芸と美術家を輩出する土壌／雪国ならではの文化

(都市と農山漁村が近接したゆとりと利便性とを兼ね備えた環境)

様々な都市サービスと、豊かな自然の恵みや農山漁村のゆとりある暮らしを身近に享受／自然と共生した人々の営みが息づく農山漁村

(多様な産業の集積)

農林水産業は主要な産業／進取の気性に富んだものづくり文化／厚い産業集積／国内有数のエネルギー供給基地

(三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアに対する地理的優位性)

地理的に優位な位置／国際的な人・物の動きが活発化／地理的優位性は一層向上

2 北陸圏の課題

- 良好な住環境や女性の就業率の高さに代表される良質な生活環境、豊かな自然や歴史文化遺産、特色ある先端産業・伝統産業の集積、都市と農山漁村の近接、さらには三大都市圏や急速に経済成長する環日本海諸国をはじめとする東アジアに対する地理的優位性といった特性
- 近年、多くの自然災害に見舞われ、全国より早いペースで人口減少、高齢化が進展しているなどの問題に直面
- 北陸圏の対外的な認知度の低さなどから、圏域としてのポテンシャルの発揮が不十分
- 東アジアの成長、予想を上回る早さでの人口減少社会の到来、インターネットや携帯電話の普及による国民生活の変化
- グローバル化の進展と環日本海諸国をはじめとする東アジアの経済発展、国民のいやしを重視する傾向の高まり、行政と住民や企業、NPO、住民団体などの協働による様々な活動の進展、高度情報通信基盤の急速な普及・発展、防災への取組の進展などは、北陸圏のポテンシャルを発揮する上で総じて好機
- 人口減少・高齢社会の到来、経済や人的交流に関する国内他地域との競争の激化、災害・環境などのリスクの増大などは、地域づくりを進める上で克服すべき課題
- 時代の潮流に適応して、ポテンシャルを最大限に発揮しつつ、弱点の克服や直面する問題への対応を図っていくことが必要

(1) 雪や地震など厳しい自然災害への備え

地震、豪雪、洪水、土砂災害、流木被害などの自然災害に対して人々の生活の安全・安心の確保や、活発な産業・経済活動の維持のため、道路交通の確保、治水対策や土砂災害対策などのハード対策、災害予測や情報提供など防災技術の向上、ハザードマップや防災行政無線など防災・減災のためのソフト対策の推進が必要である。

(地震に対する備え)

日本海沿岸の地震発生に対する備えを強化／交通施設、防災拠点、ライフライン施設の耐震化／被災時の早期復旧に向けた対策／大規模な災害発生時にも人々の生活サービスを継続して維持する体制づくり

(風水害・土砂災害・流木等被害に対する備え)

土砂災害や浸水被害等に対する防災対策の推進／地球温暖化等に伴って増加が懸念される水害、高潮災害への対策／危険性の高いエリアへの住宅などの進出の抑制／沿岸域での流木や漂着ゴミの被害防除／高潮、波浪等に対する防災機能の強化／海浜部の保全

(降雪に対する備え)

冬季における人々の日常生活や産業・経済活動の安全・安心の確保／克雪対策／農山漁村における冬季の防災体制の構築

(2) 美しい自然環境・地球環境の保全への対応

3,000m級の山々が育む豊かな森林から田園風景、日本海など海洋までの美しく多様な自然環境の維持に向けた、森林や農業等の多面的機能の保全や健全な水循環系の維持に対する取組、圏域内に豊富に貯蔵するバイオマス資源の有効活用など、地球温暖化防止に向けた貢献が必要である。

(森林や農業等の有する多面的機能の保持や水循環系の健全性の確保)

里地里山の生態系の保護管理／森林や中山間地の保全・活用／森林や農業の有する多面的機能の持続的な保持に向けた民間活力の導入／水循環系の流域全体を視野に入れた再構築／バランスのとれた自然環境の保全

(地球環境の改善への貢献)

地球温暖化に対して地域資源や知恵・経験・技術を活かして、主体的に貢献

(3) 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用

全国平均より早い人口減少、全国より緩やかな少子化が進展する中で、地域活力を維持していくためには、北陸圏の持つ接続する都市と近接する自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力を活かして、北陸新幹線の開業効果を高める集約型都市構造への転換など都心の賑わい回復や地域公共交通の充実、農山漁村の魅力ある暮らしの維持、子育てしやすく、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安心して暮らすことのできる生活環境の充実等、農山漁村と都市が共生する接続型都市圏の形成に向けた取組が必要である。

(都心の賑わいの回復への対応)

「市街地の拡散」による中心市街地の活力低下／集約型都市構造への転換／賑わいや魅力、活力の向上／子育てしやすく、高齢者にやさしい都市環境の実現／都市間の連携／多様な高次の都市サービスの提供／北陸新幹線の開業の効果増大に向けた取組／二地域居住や定住希望者などの多様なニーズへの対応

(伝統文化や自然と共生する暮らしを色濃く残す農山漁村の魅力の維持・活用)

農山漁村における集落機能の低下／農山漁村の暮らしを圏域一体で維持し支える／都

市圏と農山漁村の交流を支援する幹線道路ネットワークの形成／安全・安心な地域公共交通の維持・強化／移動空間全体のユニバーサルデザイン¹の充実／地域コミュニティの維持・強化

(子育てしやすい生活環境の充実)

女性の就業率、共働き世帯の割合が高い／高い出生率を維持／働く女性の起業・就業の支援／より一層の子育て支援の充実／出生率の向上／次世代を見据えた北陸圏の発展

(中高年の積極的な社会参加等の充実)

健康・長寿な圏域／都市部の活性化／生産年齢人口の減少への対応／中高年の社会・経済活動への参加促進／広域医療・福祉のサービス提供の仕組みづくり／地域医療・福祉の充実

(4) 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用

産業・経済のグローバル化が進展する中で、伝統産業の画期的な取組によって育まれた進取の気性に富んだものづくり文化、日本海側有数の産業集積や、質の高い人的資源を活かして、優秀な人材の定着・育成や誘致、進取の気性で培われる新事業・新産業創出に向けた高付加価値創出への取組など、国際競争力強化に向けた取組が必要である。

(産業活力の向上に向けた既存企業群の強みや優秀な人材等の活用)

産業・経済活動の安定的な成長／日本海側有数の厚みのある北陸圏の産業集積の活用／国際競争力のある産業育成／一層の技術高度化／既存産業に関連した先端産業・研究拠点の誘致／産学官の連携強化による共同研究／国際的な経済交流の推進／海外投資の誘致／人材の地域定着

(高付加価値化に向けた特色ある先端産業やエネルギー供給基地として培われた技術の活用)

産業・経済のグローバル化／生産年齢人口の減少／地域経済の維持／産業・経済の国際競争に打ち勝つ／既存産業の成長／新事業・産業が活発に創出される環境づくり／原子力発電所の安全・安心対策の強化／原子力・エネルギーに関する研究拠点地域の形成

¹ ユニバーサルデザイン：障害の有無、年齢、性別、言語などにかかわらず、初めからできるだけ多くの人々が利用しやすいよう、都市や生活環境をデザインする考え方

(5) 食料を供給し食文化を育む農林水産業の活性化

豊かな自然環境と水資源に支えられた独自の食文化を育む北陸圏においては、農林水産業に従事する担い手の育成、豊かで多様な農林水産物・加工食品など食料の供給・国内外への販路の開拓・拡大、それらのブランド化、食文化を活かした観光・交流など多角的な農林水産業の振興に取り組むことで、圏域の食料自給率の向上や国内における木材の安定供給体制の整備、さらには森林や農業の有する多面的機能の保持を図っていくことが必要である。

(6) 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある地理的優位性の活用

経済発展の進む環日本海諸国をはじめとした東アジアや三大都市圏に対する地理的優位性を活かして、全国平均を超えて増加する外貿コンテナ貨物取扱量や順調に増加するそれら諸国からの外国人観光客など拡大する物流・旅客の需要への対応のみならず、それら需要を喚起し、より一層の対内直接投資の拡大、日本海側の中核拠点としての役割を強化するため、物流・流通や旅客輸送を支える北陸新幹線、高規格幹線道路や地域高規格道路などの幹線道路、空港・港湾などの広域交通ネットワークの強化が必要である。

(需要が拡大する国内外の物流や旅客流動への対応)

国内外の物流や旅客流動の需要増大／他圏域に対する広域的な防災支援／広域交通ネットワークの充実／北陸新幹線の開業／都市間の近接性が向上／都市間相互の連携効果の向上

(新たな物流や旅客の需要創出に向けた国内外の物流・流通網の充実・活用)

東アジアなどに対する日本海側の物流の玄関口／我が国の物流・旅客の結節点／経済交流の促進／物流や旅客のシームレス化²／港湾・空港のハード・ソフト面での整備／日本国内に向けたネットワーク形成／国内外の物流・流通網の強化／企業の進める J I T³ や S C M⁴への対応／環境にも配慮

(7) 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応

中部圏や近畿圏、首都圏など大都市圏いずれにも 300km圏と近接する北陸圏におい

² シームレス化；利用者が複数の輸送機関を違和感なく統合して利用できること

³ J I T；ジャスト・イン・タイム（Just in Time System）の略で、生産工程において、必要なときに必要なものを必要なだけ必要な場所に届ける生産方式・在庫管理方式のこと

⁴ S C M；サプライ・チェーン・マネジメント（Supply Chain Management）の略で、製造から販売までのモノの流れを一貫して把握し、部門間あるいは企業間で情報を共有して経営効率を向上させる手法

て、近年日本海側で多発した地震災害の経験を活かし、リダンダンシー⁵を発揮し旅客及び物流機能の向上に資する広域交通ネットワークの形成や、防災支援体制の整備などにより、東海、東南海、南海地震などの太平洋側の大規模自然災害時における被害軽減に向けた被災者の受入や広域的な応急復旧の対応など、太平洋側の災害時におけるセーフティネット⁶としての役割を担っていくことが必要である。

(8) 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用

歴史が培った多様な伝統・文化、特色ある自然、豊かで多様な食、優れた住環境など豊かで多様な地域資源を活かして、北陸圏の知名度向上や新たな観光需要を喚起する観光スタイルの構築など国内外からの観光・交流の拡大、大都市圏住民をターゲットとした体験型滞在や二地域居住、U J I ターンによる定住化への取組、さらには、それら地域資源や世界に誇る多様な地域の知恵・技術等を活かした国際的な文化・学術交流の推進が必要である。

(観光・交流の強化に向けた魅力ある地域資源の活用)

余暇時間の増える団塊世代／外国人観光客の順調な増加／地域資源の再発見、磨きあげ、活用／重要な基幹産業の一つである観光産業の充実／外国人観光客数の需要拡大／北陸圏が地理的優位性を有する三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジア／航空路線網の更なる充実／来訪者が何度も訪れたい／個性あふれる国際競争力の高い魅力ある観光地づくり／観光需要をより一層喚起／魅力を発信／広域交通ネットワークの交通結節点／観光地へのアクセス／観光地間の交流・連携を支える交通基盤の整備

(北陸圏の知名度向上)

必ずしも高くない北陸各県の知名度／安全・安心で快適な住環境を充実／本来北陸圏が持っている地域イメージの発信／交流人口の増加／体験型滞在、二地域居住、定住／北陸圏の知名度向上

(新たな観光需要の喚起)

行政と住民や企業、NPO、住民団体などの協働／北陸圏の豊かで多様な観光資源の保全・活用／世界遺産登録などの新たな地域資源／新たな観光スタイル

⁵ リダンダンシー；「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。

⁶ セーフティネット；一部の危機が全体に及ばないようにするための安全保障制度や安全対策のこと

(交流・定住化に向けた良質な生活環境の活用)

需要の高い団塊世代／U J ターンを希望する北陸圏出身者／北陸圏の持つ良質な生活環境や豊かで多様な地域資源／圏域の暮らしの魅力を活かす／滞在や、二地域居住、定住化の促進

(国際的な文化・学術交流のテーマとなる世界に誇る知恵・技術の活用)

環日本海諸国との交流／多様な地域の知恵や技術の活用／海外留学生や研修生に北陸圏を知ってもらう／国際的な知名度向上／国際的な人材を育成／国際的な文化・学術交流の拡大

(9) 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応

豊かな地域資源や知恵・経験・技術を活かして、公害防止対策や省・新エネルギーなどの環境技術の提供、環日本海諸国をはじめとする東アジアの地域レベルの産学官の環境パートナーシップの強化など、各国と協力・連携しつつ、日本海沿岸地域で大規模化する黄砂の飛来や酸性雨、海浜部への漂着ゴミの増加、さらには地球温暖化などの深刻化する環境問題の解決に向けた主体的な取組が必要である。

第2章 北陸圏の将来像

「豊かで多様な自然、魅力ある都市や農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と域外・国外との交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中枢圏域」として位置付け

1 人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一

魅力ある生活環境を有する都市圏（優れた住環境と接続する都市圏）と多自然（豊かさに変化に富んだ特色を持つ自然）、活力ある産業（ものづくり文化と進取の気性）が、共生する自立的に発展する圏域づくりを進め、誰もが世代・価値観に応じた多彩な生活、就業、交流の機会を享受し、豊かさを実感することのできる「人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一」の圏域を目指す。

2 世界に開かれた日本海側における交流の中枢拠点

雪国の風土（豊かで多様な自然や生活、歴史・文化、産業など）が培ってきた地域の文化力による観光、文化・学術面での交流の創出、経済発展する環日本海諸国をはじめする東アジアと日本海を挟んで対面し、後背に三大都市圏と近接する地理的特性を活か活かした、太平洋側の災害リスクや日本海沿岸地域の環境リスクへの積極的な解決への取組、日本海側有数の集積を誇るものづくり産業と一体となった国内外の活発な物流の創出により、我が国の持続的な発展を先導する世界に開かれた「日本海側における交流の中枢拠点となる圏域」を目指す。

第3章 新しい将来像実現に向けた戦略目標

目標1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実

- 厳しい自然の中で培われた知恵・経験を活かして、安全・安心を確保する。
- 子育てしやすい魅力ある生活環境を有する都市圏と農山漁村や自然とが共生する誰もが豊かさを実感できる暮らしを実現する。

目標2 ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成

- 多様で特徴のある産業集積を活かした新事業・新産業の創出、豊かで多様な地域資源や食文化を活かした農林水産業の多角的な展開など地域産業の活力を創出し、国際競争力のある産業を育成する。

目標3 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化

- 環日本海諸国をはじめとする東アジアや三大都市圏に対する地理的優位性を活かして、ものづくり産業や観光・交流の活性化を支援する。
- 太平洋側での大規模災害時にセーフティネットとしての役割を果たすため、交通基盤や物流基盤などを整備し、日本海側の中枢拠点を形成する。

目標4 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

- 環日本海諸国をはじめとする東アジアや三大都市圏など国内外に展開する広域交通ネットワークの整備・充実を踏まえ、地域で培われてきた伝統・文化を伝承・発信する。
- 豊かで多様な地域資源の活用により、国内外との交流を促すとともに、環日本海諸国などとの国際協調・貢献、文化・学術・スポーツ交流を推進する。

1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実

(1) 災害に強い安全・安心な暮らしの充実

人々の生活の安全・安心を確保し、活発な産業・経済活動を維持するとともに、地震や豪雪、風水害、津波・高潮災害、土砂災害、流木被害などへの防災・減災対策に取り組む。

特に、日本海側で発生する地震による被害や地域のみならず広域への被害拡大が危惧される原子力発電所などの被災に対する安全・安心対策を強化していく。

(災害に強い国土形成)

—地震・津波対策—

高規格幹線道路網やバイパスの整備／橋梁の耐震補強／港湾の耐震強化岸壁の整備／空港の耐震性の向上／住宅・建築物の耐震診断・耐震改修の促進／宅地の耐震化・液状化防止／延焼危険性のある密集市街地の解消／下水道施設の耐震化／防災拠点施設の耐震化／海岸保全施設や河川堤防の耐震対策／地震の発生源である活断層などの陸域・海域全体の正確な分布状況の把握

—克雪対策—

道路などの防雪・除雪対策／除排雪機能を有した下水道の整備／高度情報通信基盤を活用した災害情報の提供／高齢者単独世帯をはじめとする住民への除雪の負担軽減に向けた技術研究／除雪対策を進める体制づくり／冬期居住施設等の導入の検討

—風水害・土砂災害・流木対策—

治山事業／砂防事業／ダム建設／河川改修／砂防関連施設による流出土砂の抑制／海岸事業による高潮対策／下水道の整備などの都市浸水対策／雨水浸透・貯留施設の整備／市街化調整区域の保持などによる流域からの流出抑制対策／森林や農地・農業用排水施設の適切な整備と保全／流域が連携した総合的な治山治水対策の推進／圏域外との連携を含めた流域単位で取り組む体制づくり／離岸堤、潜堤等の整備／サンドバイパス、養浜等／山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理／関係者が連携した総合的な流木対策

—海岸保全・高潮対策—

海岸侵食対策／防護機能、環境、利用の調和のとれた総合的な海岸保全対策／海岸環境整備

(減災に資する体制の構築)

自主防災組織の組織率の向上／消防団や水防団の団員確保の支援／災害時要援護者の

避難誘導體制の充実・強化／津波・高潮・洪水・土砂災害ハザードマップなどの整備・普及／自然災害に係る情報の収集・提供体制の強化／土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域の指定／官民一体での災害時の救命救急の専門的な人材育成／企業や行政における業務継続計画（BCP）の策定や取組、訓練の充実

（災害時の応援体制と応急復旧体制の整備）

広域防災情報ネットワークの整備／多機関が連携したより実践的な防災訓練の充実／広域的な防災及び危機管理体制の強化／高規格幹線道路や地域高規格道路など幹線道路の整備／橋梁の耐震補強などの道路防災対策／住区基幹公園や都市基幹公園などの公園施設の再構築／耐震強化岸壁や緊急物資の円滑な輸送のための臨港道路の整備／臨港地域における防災緑地などの整備／圏域内中央卸売市場だけでなく新潟市や東海地域の中央卸売市場とも連携した広域的な相互支援体制の構築／災害時に大量に発生する廃棄物を迅速かつ適切に処理するための体制整備

（原子力発電所の安全・安心の確保）

原子力発電所の安全確保／災害時の発電所へのアクセス経路の確保／住民の避難経路の確保／関係機関と連携した広報や放射線・原子力発電を含めた情報公開／小・中・高等学校におけるエネルギー教育の充実支援

（2）美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実

河川流域全体を視野に入れた健全な水循環系を再構築するとともに、農業の担い手育成や、都市住民との交流・連携を通じた森林や農地などの持続的な保全体制を構築する。さらに、森林や農地の境界保全を推進し、希少な野生動植物の保護や鳥獣被害の防止などバランスのとれた自然環境の保全に取り組む。

また、未利用資源の多様な利活用の推進、円滑な道路交通の実現や地域公共交通の利用拡大、廃棄物の発生抑制及び減量化・リサイクルなど循環型社会の構築、長期にわたって使用可能な質の高い住宅ストックの形成など、生活環境の改善に取り組んでいく。

（自然環境・水循環系の保全）

森林・農地の保全／ダムや砂防えん堤の整備／上下水道の整備／浄化槽の整備／農業用排水路の整備／ため池の整備／生活貯水池建設の整備／多様な主体の参画を得た流域協議会／多自然川づくり／針広混交林化への誘導や森林施業の集約化／植林から伐採・搬出に至るトータルコストの縮減／美しい森林（もり）づくりに取り組む体制の構築／水源となる森づくりを支える財源を確保するなど新たな仕組みづくり／土木工事用

資材としての間伐材の利用推進／水田と農業用排水路やため池と併せて形成される水のネットワークの維持／担い手の育成／低平地や中山間地域などそれぞれの特性や地理的条件に即した農地・農業用水の適切な管理／農山村の生活環境の質的向上／幅広い農用地の有効利用・保全の促進／地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参画を得た地域ぐるみでの効果の高い協働活動による農地や農業用水及び環境の保全向上の取組の推進／多様で豊かな自然環境の保護／希少な野生動植物の保護／エコツーリズム・グリーンツーリズム／産学官民が一体となった取組体制の構築／鳥獣による被害防止

(豊かな日本海の保全と管理)

日本海的环境に関するデータを幅広く収集・監視／海洋投棄対策や油流出事故の防止／油回収船の出動など事故後の迅速な対応を可能にする体制づくり

(地球温暖化対策)

公共施設などにおける先進的に新エネルギーの導入／家庭や企業に環境配慮の呼びかけ／伝統産業の持つ技術や考え方、農山漁村などの無駄を出さない暮らしの知恵や技術などの掘り起こし／バイオマスタウンの構築／地域の特色あるエネルギー資源の徹底活用／下水汚泥と地域のバイオマスの一体的な処理によって得られるバイオガスの有効利用の推進／地球環境にやさしい生活スタイルの普及に向けた気運の醸成／渋滞対策のための幹線道路ネットワークの整備／港湾整備に加え、各モード間の連携を深めるインフラ整備／都市の基盤整備など交通の円滑化／公共建築物の省エネルギー化／地域公共交通の利用促進／エコドライブの推進／都市公園・緑地の整備／砂防事業の山腹工の整備／都市山麓グリーンベルトの整備／適切な森林の整備／木材利用の促進

(資源循環と不法投棄対策)

ごみ減量化・リサイクルなど3R⁷の推進／廃棄物の不法投棄の防止／廃棄物の適正な処理対策の推進／下水汚泥や建設発生土の有効利用など公共事業におけるリサイクルの推進／廃棄物埋立護岸などの整備

(生活環境の改善)

交通円滑化に資する道路整備／遮音壁の設置や低騒音舗装の敷設などの騒音対策／地域公共交通の利用促進やTDM⁸施策による自動車交通量の抑制／低公害車の導入／下水道の整備などによる湖沼・河川・海域における水環境の改善／人の健康や生態系に有

⁷ 3R：リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）のこと

⁸ TDM：Traffic Demand Managementの略で、交通需要マネジメントのこと

害な影響をもたらすおそれのある化学物質の環境リスクの低減の取組／環境保全などに取り組む企業と行政が一体となった体制づくり

(3) 子育て支援の充実及び女性・中高年をはじめ、誰もが暮らしやすい生活環境の形成

子育て支援、女性の就業・起業や社会参加の促進支援など、働きながらも子育てしやすい環境の形成により、出生率の上昇及び次世代を見据えた北陸圏の発展を図る。さらに、健康・福祉サービスの充実や、団塊世代など中高年の豊富な経験・知恵・技術を活かす場の形成など、生きがいと安心、ゆとりやいやしのある生活環境を形成する。

また、公的賃貸住宅の整備や民間賃貸住宅を活用した重層的かつ柔軟な住宅セーフティネットを構築する。

(子育て支援)

子育て支援のための拠点整備や公園整備／子育て世帯向け住宅等公的賃貸住宅の供給の推進／大学や企業、地域など社会全体で子育て家庭を支援していく気運の醸成／子どもの安全・安心の確保／子育て支援サービスを提供できる仕組みづくり／子育て家庭の経済的負担の軽減

(女性の就業・起業や社会参加)

就業・起業支援のための情報提供などを行う拠点整備や体制づくり

(安心で生きがいのある暮らしの充実)

バリアフリー住宅や介護ケア施設の付帯する集合住宅、公的賃貸住宅の供給／身近な地域で質の高い医療を受けられる環境の充実／地域総合福祉の推進／地域の創業・事業拡大などに必要な中核的又は専門的人材としての団塊世代の受入の場・機会の創出／社会参加活動への参加促進や退職後の新たな就業・起業に向けた能力開発の取組

(4) 農山漁村と都市が共生する持続可能な接続型都市圏の形成

北陸新幹線の開業の効果都市間の連携や活力向上に有効に寄与させていくとともに、都市と農山漁村が近接する特徴を活かしてそれぞれ特色のある発展を目指す。さらに、そのことにより、ゆとりやいやしと利便性とを兼ね備えた豊かな暮らしを育むことのできる環境づくりや、安全な移動空間の確保に取り組む。

(都市機能の強化)

伝統と文化が集積する都心づくり／駅周辺をはじめとする市街地整備／歩いて暮らせ

る集約型都市構造への転換の計画的な推進／既存の都市基盤施設の有効活用／高次の都市拠点サービスを提供する拠点都市地域の整備／小学校区単位で地域住民の総意で策定した計画に基づいて自ら進める身近な地域単位の地域づくり／地域の創意工夫を活かしたまちづくり／新幹線と結節した都市交通の整備・強化／連続立体交差事業

(優れた住環境の整備)

多様な主体の参加による歴史（資源）や文化を活かしたまちづくり／街なみ環境整備事業／無電柱化／都市公園の整備／レクリエーション拠点の整備／水辺空間の保全・再生・創出／川とまちづくりの創出／みなとまちづくり／良好な市街地の形成／定住促進住宅等の公的賃貸住宅の供給／住宅市街地の整備の推進

(安心とゆとりのある暮らしやすい農山漁村の形成)

農林水産業の振興・活性化／集落における生活環境基盤の整備／農地防災対策／農山漁村の地域コミュニティの再生・強化／高度情報通信基盤の整備・活用／鳥獣による被害防止の取組強化／広域医療・福祉の充実／生活交通の確保／農山漁村環境の総合的な保全・形成

(都市と都市、都市と農山漁村の交流・連携)

高規格幹線道路や地域高規格道路など幹線道路の整備の推進／幹線道路整備と一体となった市街地整備／高度情報通信基盤の整備／在来線や地方鉄道の輸送力増強・近代化／新幹線駅と結節する二次交通の整備・充実／交通結節点改善やパーク・アンド・ライドなどによるバスや鉄道などの地域公共交通の利便性の向上／地域における鉄道・バス等の公共交通活性化・再生のための様々な取組の総合的な支援／環境にも配慮した低公害バスの導入／農山漁村における水と緑豊かな自然環境の保全／地域環境の形成、地域資源を活かした美しく個性あるまちづくり・地域おこし／伝統文化の伝承

(安全・安心な移動空間の形成)

地域公共交通の整備・充実など移動手段の確保／駅や港湾、空港などの交通結節点やそれを中心とした旅客施設、さらには建築物も含めて連続的なバリアフリー空間の形成／交通事故対策／通学路などの安全・安心な歩行空間の確保／安全な自転車走行空間の確保／冬季道路情報の提供／地域住民や行政との協働による歩道などの除雪対策

2 ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成

(1) 地域主体の戦略に基づく企業や人材誘致による地域産業の活性化

北陸圏の有する特性を活かして、国際的な経済交流や独自の産業振興戦略の策定、海外市場進出への支援などに取り組む。このことにより、国内外の高付加価値型産業や研究開発拠点などの企業誘致を進め、国際競争力のある産業集積拠点を目指す。

また、北陸圏の有する優れた地域文化等を国内外に発信し、若年層や団塊世代の誘致や、海外からの留学生の招へいを進めるとともに、産学官の連携による技術の蓄積を活かした起業精神にあふれる実践的な人材を育成し、次代を担う優秀な人材を確保する。

(国内外からの企業誘致の推進)

大都市圏などでの企業誘致のためのイベントなどへの積極的な参加／海外における北陸圏のアピール／北陸3県一体での諸外国との経済交流／地域独自の産業振興政策を立案とそれに基づく企業誘致の推進／環日本海諸国での市場開拓や世界へと展開できる企業の立地を促進する環境整備

(起業意欲にあふれる人材の誘致・定着と人材育成)

優れた住環境や既存企業のポテンシャルの積極的な発信／企業誘致などによる雇用機会の創出／起業意欲にあふれる人材育成／起業活動を支援する仕組みの構築／高等教育機関と産業界が連携した人材育成カリキュラムの開発／技術・人材の斡旋・交流／人材育成強化拠点・起業支援拠点の整備／地元金融機関や投資家、行政などが連携して支援する環境の構築／国際留学・研修センターの整備

(2) イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出

進取の気性に富む北陸圏にあって、伝統産業から先端産業までの多彩な技術や地域資源を活かして、技術の高度化や事業展開の支援、産学官連携によるイノベーションの促進などにより新事業・新産業の創出に取り組むことで、付加価値を高める内発型産業を育成する。

(新事業・新産業創出の支援)

ものづくり基盤技術の高度化／新技術の事業化に向けた研究開発への支援の推進／マーケティング戦略の構築／「北陸ものづくり創生プロジェクト」や知的クラスター創成事業／異業種交流や産学官連携の促進／新技術の事業化研究開発への支援／豊かで多様な地域資源の高付加価値化、ブランド化／新たな資源の発掘／中小企業の創意ある事業

活動の取組／環日本海諸国をはじめとした諸外国への産業・経済交流や地域産業の進出および販路開拓の支援／支援基金やファンドの創設等の仕組みづくり

(先端技術の研究開発拠点の形成)

世界トップレベルの技術開発を進める研究機関の整備や機能強化／エネルギーや安全・安心関連の最先端研究や他分野への活用・融合による最先端技術の研究開発

(3) 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開

農業の担い手の育成及び経営の安定化を図るとともに、農地及び農業用水などの生産基盤を整備し、これらの有効利用を推進する。また、地域住民や一般消費者も含めた多様な主体の参加を得て、保全・向上を図る取組を推進する。

あわせて、食育の推進や食材のブランド化、地域食品産業の活性化、農商工連携の推進などに取り組むとともに、地産地消の推進により、地元農林水産物の生産振興と食や農業・漁業に対する一般消費者の理解の増進を図る。

さらに、国内における木材の安定供給体制の整備を進め、多面的機能を有する森林づくりに取り組む。なお、NPOや企業などとも連携し、農山漁村の美しい景観や文化などを活用して、新たな観光・交流の拡大に取り組むなど、農林水産業の経営多角化を展開する。

(農林水産業に取り組む人材の確保・育成)

認定農業者制度等の活用／集落営農の組織化・法人化／定住条件の整備／就業のための準備の支援／就業後の技術指導・支援／生活面での支援／水田経営所得安定対策の推進／地域固有の資源の活用／特定法人貸付事業／既成概念や枠組みにとらわれない自らの創意工夫と努力による新規事業の創出への支援

(美しい農山漁村風景を支える生産基盤、集落機能の適切な維持・向上)

農地の利用集積の加速化／ほ場の大区画化／農業水利施設の更新整備と適切な管理／農業生産基盤の整備／集落排水施設の更新整備／農山漁村環境の総合的な保全・形成

(食料産業クラスターの形成による地域食品産業の活性化)

食料産業クラスターの形成などの取組への支援／地域食材を活用した食品の地域ブランド化／地域団体商標への登録

(林業経営意欲・雇用の創出)

森林施業の集約化／効率的な生産システムの導入／林地から製材工場への直送化／製材工場などの大規模化／消費者ニーズに対応した製品開発の推進／森林所有者・木材産業関係者・住宅生産者が一体となった地域材利用の家づくりの取組／森林基幹道など林業生産基盤の整備

(食材のブランド化の推進)

地域団体商標への登録／地産地消の推進／食育の推進／スローフードや健康食などの提供／中国などへの積極的な輸出促進に向けた取組支援／流通システムの構築

(食をテーマとした交流・観光の強化)

グリーンツーリズム⁹／文化観光・産業観光／エコツーリズム¹⁰／ヘルスツーリズム¹¹／高度情報通信基盤の整備・活用による情報発信の仕組みづくり／道の駅の整備・活用による特産物販売や地域情報の発信／小学生の長期宿泊体験活動の場としての農山漁村の活用／地域と企業・NPO等多様な主体との連携・協働／農山漁村の魅力の情報発信／都市と農山漁村を相互に行き交う新たなライフスタイルの実現／都市から農山漁村への定住・二地域居住等の推進

⁹ グリーンツーリズム；緑豊かな農山漁村を舞台に、その自然、文化、人々との交流を楽しむ「滞在型余暇活動」のこと、農山漁村で過ごすゆとりある休暇は、都会の人々の新しいライフスタイルの一部となりつつある

¹⁰ エコツーリズム；ガイド等の案内や助言を受けて自然観光資源の保護に配慮しつつ、ふれあい、学び、知る観光の形態

¹¹ ヘルスツーリズム；自然豊かな地域などを訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに「癒され」、「健康」を回復する新しい観光形態

3 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化

(1) 国内外に展開する信頼性の高い交通ネットワークの形成・強化

企業が取り組むJITやSCMに応える物流コストの低減、時間短縮、定時性確保及び少量多品種輸送への対応など信頼性の確保、さらには、環境配慮にも対応した物流・流通網を構築する。そのため、隣接圏とも連携し、陸・海・空の広域交通ネットワークを整備し、国内外とダイレクトに結ぶ迅速かつ低廉で多様な輸送経路を確立する。また、国内外からの観光客の誘致に向けて、交通結節点と観光地間を結ぶ利便性の高い交通ネットワークを強化する。

さらに、選択可能な輸送経路の充実や災害時のリダンダンシーを発揮する信頼性の高い交通ネットワークを形成し、物流・旅客輸送機能を強化するとともに、日本海の海域・空域の安全を確保していく。

(産業と連携した物流機能の形成・強化)

港湾の国際海上コンテナターミナル、多目的国際ターミナル、国内物流ターミナルの整備／空港の国内外の物流機能の強化／高規格幹線道路や地域高規格道路など幹線道路の整備・活用／幹線道路や臨港道路の整備／北陸新幹線の開業にともなう在来線の鉄道貨物の流動機能の強化／港湾・空港と高規格幹線道路相互のアクセス強化によるシームレス化やモーダルシフト¹²の推進／幹線道路などの防雪・除雪対策／高度情報通信基盤を活用した災害情報の提供／結節性の高い陸・海・空の広域交通ネットワークの構築／次世代シングルウィンドウ¹³稼動を契機とした港湾関連手続の電子化の促進／広域的な小口混載コンテナ貨物の取扱の強化／ポートセールスの推進／3県合同での北陸港湾の利便性拡大に向けた研究／民間企業と行政とが一体となった港湾運営の強化

(国内外に展開する旅客機能の形成・強化)

北陸新幹線や在来幹線鉄道の整備・活用／高規格幹線道路や地域高規格道路など幹線道路の整備・活用／航空ネットワークの維持・拡充／港湾や空港へのアクセス道路整備／空港や港湾の国際旅客機能の強化／港湾の旅客船バースの整備／道路の防雪・除雪対策／高度情報通信基盤を活用した積雪情報の提供／交通基盤の整備／地域公共交通の活性化及び再生支援

¹² モーダルシフト；幹線貨物輸送をトラックから大量輸送機関である鉄道又は海運へ転換し、トラックとの複合一貫輸送を推進すること

¹³ 次世代シングルウィンドウ；通関、港湾関連、検疫等の諸手続について、ワンストップ・サービスを提供するための統合システム

(海域・空域の安全確保・保安対策)

安全な航路・避難港の確保対策／小型船の係留対策／海象情報など航行援助のための情報提供システムの構築／改正SOLAS条約¹⁴などに対応した港湾の保安対策／ICAO条約¹⁵などに対応した空港の保安対策

(2) 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化

東海、東南海、南海地震などによる太平洋側への甚大な被害の軽減に向けて、隣接圏とも連携し、避難生活時に必要になる大量の食材などの供給や広域医療支援など、迅速な応急復旧を支え、太平洋側と相互補完できるリダンダンシーを発揮する旅客流動・物流基盤の整備や広域的な支援体制づくりに取り組むことで、太平洋側の地震災害などの被災に対するセーフティネットとしての役割を担う。

(広域的な防災支援と代替性を発揮する交通機能の強化)

陸・海・空の広域交通ネットワークの整備・充実／災害復旧支援のための広域的な体制整備／広域防災拠点の整備・強化／高度情報通信基盤の整備

¹⁴ 改正SOLAS条約；船舶及び港湾施設の保安確保を目的に、2002年12月に国際海事機関(IMO)において改正された「1974年の海上における人命の安全のための国際条約(SOLAS条約)附属書」、これを担保するため、平成16年7月1日から「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律(国際船舶・港湾保安法)」が施行、国際航海船舶や国際港湾施設の自己警備として保安措置を義務付け、外国から日本に入港しようとする船舶に船舶保安情報の通報を義務付け危険な船舶には海上保安庁が入港禁止等の措置を行えるようにしている

¹⁵ ICAO条約；1944年(昭和19年)11月シカゴで開催された国際民間航空会議において、国際民間航空条約(シカゴ条約)が作成され、1947年(昭和22年)4月4日、同条約に基づき、国際民間航空機関(ICAO)が国連の専門機関の一つとして発足、国際航空運送業務やハイジャック対策のための条約の作成、国際航空運送に関する国際基準、勧告、ガイドラインの作成を行っている

4 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

(1) 国内・国際観光・交流の充実

隣接圏とも連携しつつ、北陸圏の特色を活かした国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを進め、NPOや企業、行政が一体となった取組により「観光地北陸」の魅力を国内外に発信し、新たな観光需要を喚起する。

また、国内外観光客の利便性の向上や多様で魅力的な観光ルートの創出に向けた地域交通ネットワークの強化やおもてなしの心にあふれる受入環境づくりなど国内外観光客の満足度の高い地域づくりを進める。

さらに、都市住民を対象に体験型滞在を展開し、二地域居住やU J Iターンによる定住を促進するため、北陸圏の認知度の向上や、暮らしの魅力に関する適切な情報発信、居住希望者の受け入れや就業支援などを推進する。

(魅力ある観光地の形成)

北陸圏固有の伝統文化の保存・継承／個性あるまちづくりの推進／北陸圏の豊かで特色ある観光資源を活かした観光振興／旅行者への北陸圏の風土、文化、歴史への理解を深める場の提供／旅行者の知的欲求を満たすことのできる文化観光の推進／グリーンツーリズム／エコツーリズム／自然、温泉、食文化などを活かしたヘルスツーリズム／産業観光／個性ある温泉地づくり／多様なニーズに対応できる満足度の高いサービス提供の促進／観光圏の形成支援のための国の支援制度などの活用／交通結節点と観光地などとの連絡を強化する地域高規格道路など幹線道路の整備／交通ICカードの導入の支援

(受入環境の充実)

マーケティング能力を持ち、顧客ニーズに合った観光プラン構築が可能な観光の専門家の人材発掘及び活用／観光案内・観光ボランティアガイドの育成の仕組みづくり／外国語・ピクトグラムによる情報提供／ビジット・ジャパン案内所の整備／公共施設のバリアフリー化の推進／道路・交通案内情報や地域観光資源・イベント情報などの発信支援

(広域交通ネットワークを活用した多様で広域的な観光ルート、メニューの創出)

北陸圏の広域交通ネットワークの充実／北陸圏を核とした様々なニーズに対応した多様で魅力ある広域観光ルート、観光メニューの創出

(国内外に向けた観光プロモーション)

デスティネーションキャンペーン¹⁶やビジット・ジャパン・キャンペーン¹⁷をはじめとする各種キャンペーン／効果的なメディア媒体によるイメージアップ広告の展開／北陸圏への旅行を喚起する総合的なプロモーション活動／大企業グループなどのインセンティブツアー¹⁸の誘致／訪日教育旅行の誘致

(体験型滞在、二地域居住、定住化、U J I ターン)

新たな体験型滞在の場やメニュー構築や体制・仕組みづくりの支援／退職後のセカンドライフを求める団塊世代などのU J I ターンによる定住促進の仕組みづくり／交流、二地域居住、定住まで一貫したシステムとして、観光、交通手段、宿泊、居住を含む地域での生活、専門的人材、就業を含む多様な活動などについての仲介機能を持つ総合的な情報プラットフォームの整備

(2) 伝統・文化の継承と発信

豊かな自然、伝統的な食や産業など雪国における生活や地域の歴史・文化を体験学習するなど都市と地方の交流の場、人材育成の場を創出し、優れた地域イメージを積極的に発信することで、雪国文化が育んできた伝統芸能、伝統産業などを継承する。

(雪国文化による体験・交流と情報発信)

優れた地域資源を活かした都市と農山漁村との体験交流の場の創出／文化芸術活動の充実／高度情報通信基盤を活用した情報発信・交流のネットワークの形成

(歴史・文化を活かした地域個性の構築)

伝統的建造物群や文化財、地域固有の建築物などの保存・修復／世界遺産登録への取組の推進

(3) 環境をテーマとした環日本海諸国をはじめとした東アジアなどとの国際協調・貢献の推進

日本海沿岸地域と対岸諸国を取り巻く環境問題に対処するため、海岸部への漂着ゴミの増加や酸性雨、黄砂、地球温暖化対策など環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国をはじめとする東アジアなどとの国際協調・貢献に取り組む。

¹⁶ デスティネーションキャンペーン；JRグループが地方自治体等と連携して行う、日本で最大規模の観光キャンペーン

¹⁷ ビジット・ジャパン・キャンペーン；2010年に訪日外国人旅行者数を1,000万人とするとの目標に向け、日本の観光魅力を海外に発信するとともに、日本への魅力的な旅行商品の造成等を官民一体で行うキャンペーン

¹⁸ インセンティブツアー；企業が社員のやる気を引き出すために実施する“報奨旅行”のこと

(国際協調・貢献の推進)

漂着ゴミなどの調査／酸性雨や黄砂などの国際的な連携によるモニタリングなどの構築支援／日本、中国、韓国及びロシアの沿岸自治体、NGOなどとの連携・協力による海洋環境のモニタリング／海洋環境保全／地球温暖化防止のための研究、技術支援活動の支援／東アジアなどとの国際協調・国際貢献

(4) 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進

北陸圏の国際的な知名度を向上するとともに、国際的に活躍できる人材を育成するため、文化・学術・スポーツの国際交流を拡大する。さらに、将来の国際的なビジネスパートナーを獲得していくため、エネルギーや安全・安心に関する先端産業と伝統産業などとの融合による技術研究とその成果を活かした人材育成などの国際協調・国際貢献に取り組む。

(国際研修・会議・スポーツ交流の推進)

行政、産業界、市民が一体となった交流拡大に向けた体制づくり／最先端の産業技術や日本文化、防災など安全・安心をテーマとした研修カリキュラムを構築／諸外国から研究者や留学生の招へい／スポーツによる国際交流の促進／国際研修の誘致／知名度のある国際会議の誘致に向けた開催費用の助成など誘致活動の推進／文化・芸術による国際交流イベントの誘致

第4章 広域連携プロジェクト

北陸圏は、都市と、山や海の自然が豊かな農山漁村が共生する多自然居住地域による自立的な生活圏を形成し、それらが接続する豊かな生活環境を形成している。また、経済発展の進む環日本海諸国をはじめとする東アジアや三大都市圏にも近接し、国内外に向けた交流環境にも優れている。

それら北陸圏の強みを活かして、「人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一」及び「世界に開かれた日本海側の交流の中核拠点」という北陸圏の将来像を実現するための戦略目標の達成のため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携して以下のプロジェクトを推進する。

1 日本海沿岸震災対策プロジェクト（仮称）

- 日本海側沿岸地域での大地震発生時における安全・安心の確保・強化に向けて、活断層の地震や発生時の被害把握などの調査・分析を進め、それに基づいて、日本海沿岸における隣接圏域とも連携した震災対策を推進するとともに、震災経験を活かした知見や情報を蓄積し、地域防災体制、広域的な防災支援体制を強化する。

2 立山・黒部、白山など山岳地域の多面的機能保全・活用プロジェクト（仮称）

- 生態系保全や水資源の醸成など山岳地域の多面的な機能を守り育むため、生物多様性の保全や治山治水に積極的に取り組むとともに、自然環境や防災文化を生かしたエコツーリズムなどの交流創出や砂防フィールドミュージアムの整備により、野生動植物との共生、自然との交流を活用した地域の活性化などにも取り組んでいく。

3 日本海沿岸接続型都市圏形成プロジェクト（仮称）

- 都市と農山漁村が共生する魅力と活力にあふれる接続型都市圏を形成するため、都市機能や誰もが安心・快適に暮らせる生活環境の充実、地域コミュニティ強化や利便性の向上に向けた都市と都市、都市と農山漁村の交流・連携の強化、都市サービスの提供などICTの多様な利活用を推進する。
- 省エネ・省資源の普及に取り組むとともに、LRTなどの都市内公共交通機関の利用促進など環境にやさしい交通の実現にも取り組んでいく。

4 北陸型農山漁村活性化プロジェクト（仮称）

- 農山漁村における食料供給や国土の保全、集落のコミュニティ機能を維持し地域の活力を向上していくため、環境に配慮した効率的な食料生産のための基盤整備と後継者の育成、医療・福祉、教育、特産品販売や交流の場の提供などへのICTの多様な利

活用など、人々の安全・安心で、安定した暮らしの確保を図る。

- 棚田等の地域資源を生かした農業体験などによる北陸圏の拠点都市との交流や、北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通による三大都市圏との交流を推進するとともに、地域に豊富に賦存するバイオマスなど未利用資源を利活用して地域の活性化を図る。

5 北陸型子育て支援プロジェクト（仮称）

- 全国や東アジアへのモデルとなる健康で子育てしやすく、高齢者や障がい者にも優しい圏域を形成するため、子育て支援の拠点施設の拡充、地域や企業等が連携して、子育てしながらでも働きやすい環境づくりや育児支援の充実を推進するとともに、バリアフリー化や冬季も安心して移動できる空間の確保を図る。

6 環日本海諸国と三大都市圏との近接性を活かした産業エリア形成プロジェクト（仮称）

- ものづくり産業の国際競争力を維持・強化していくため、高度技術を担う人材育成、異分野連携や産学官連携による新事業・新産業の創出、起業の促進、国内外からの研究機関や企業の誘致、諸外国との経済交流の促進など、地域産業の国際競争力の強化に向けた取組を推進する。
- 環日本海経済圏の物流拠点を形成していくため、隣接圏域とも連携し、日本海諸港の連携した経済交流やポートセールスなどを進めるとともに、太平洋側との相互補完も意識した、環日本海諸国をはじめとする東アジアなど諸外国や三大都市圏、隣接県、圏域内に展開する、信頼性や定時性、シームレス性の高い国際・国内物流拠点・ネットワークを構築する。

7 食の北陸ブランド展開プロジェクト（仮称）

- 豊かで多様な農林水産資源やそれら資源を用いた食文化を活かして、国内のみならず、富裕層の増加する環日本海諸国をはじめとする東アジアなど諸外国への輸出産業として食関連産業を強化していく。
- 消費者に嗜好され、信頼される高品質の「北陸ブランド」を構築し、知名度を高めていくとともに、安定した生産体制を構築し、地産地消をはじめ、国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充を促進する。

8 日本海沿岸物流基盤信頼性向上プロジェクト（仮称）

- 洪水、土砂災害、降雪などの自然災害や天候に左右されない陸上・海上の物流ネットワークの構築に向け、隣接圏域とも連携して、水害・土砂災害対策、津波・高潮・侵

- 他の圏域を含めた日本海側でのネットワークの形成を図ることにより、太平洋側での大規模災害時の代替物流機能を担い、安定した国土の物流基盤整備を進める。

9 北陸観光・交流推進プロジェクト（仮称）

- 北陸圏の有する多様で豊かな地域資源を活かした魅力的な観光拠点を形成するとともに、世界遺産登録を進めるなど国内外への知名度向上に取り組む。
- 北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通など広域交通ネットワークの進展を最大限活用し、回遊性を高める観光地間の交通ネットワークの整備・強化や観光地間の連携により広域観光ルートを構築する。
- 北陸3県全体での官民一体となった国内外への観光プロモーションやMICE（会議、企業の奨励旅行、見本市、研修）分野の強化などを推進する。

10 日本海海洋環境保全プロジェクト（仮称）

- 日本海・日本海沿岸地域の良好な環境や安全の確保を目的として、日本海の水産資源の保護、日本海沿岸環境の保全、漂着ゴミや大気汚染、地球温暖化などの環境問題の解消、航路の安全確保に取り組んでいく。
- エネルギー供給基地としての機能の維持及び地球温暖化防止への貢献を目的として、省エネ・省資源の普及に取り組むとともに、それら技術の普及に、国際貢献として取り組んでいく。

第5章 隣接圏域との交流・連携

1 中部圏との交流・連携

**2 その他隣接圏域との交流・連携
(日本海国土軸の形成)**

第6章 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の主体的な参加と協働
- 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成
- 3 広域的な発想の下での地域連携の促進
- 4 投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理
- 5 他の計画・施策との連携
- 6 計画のモニタリング